

報道各位

住友林業株式会社

脱炭素設計のスタンダード化に向け「One Click LCA」日本語版発売

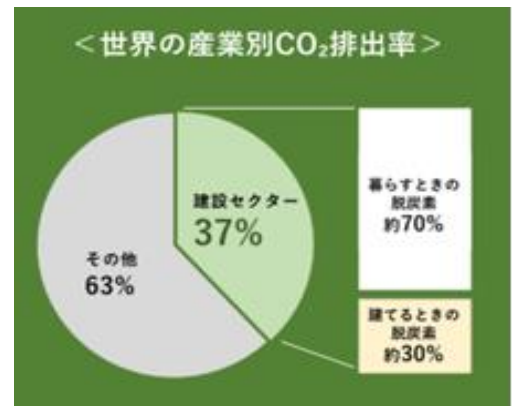
～建てるときのCO2排出量が見える化 建設業界の脱炭素を目指す～

住友林業株式会社（社長：光吉 敏郎 本社：東京都千代田区）は8月8日、建てるときのCO2排出量等を見える化するソフトウェア「One Click LCA」の日本語版を発売します。「One Click LCA」は昨年11月に当社が日本単独代理店契約を締結したソフトウェアで、建設にかかる原材料調達から加工、輸送、建設、改修、廃棄時のCO2排出量（建てるときのCO2排出量）を精緻に算定できます。「One Click LCA」の普及を通じて、建てるときのCO2排出量削減を目指す脱炭素設計を推進します。

■背景

全世界のCO2排出量に占める建設部門の割合は約37%※と言われており、建設業界における脱炭素化の取り組みが求められています。世界の建設部門でのCO2排出量の約70%が暮らすときのCO2排出量（オペレーショナル・カーボン）で、残り30%が建てるときのCO2排出量（エンボディード・カーボン）です。暮らすときのCO2排出量は、ゼロエネルギーハウス・ビルディングの普及により削減が進んでおり、今後は建てるときのCO2排出量の削減が喫緊の課題です。

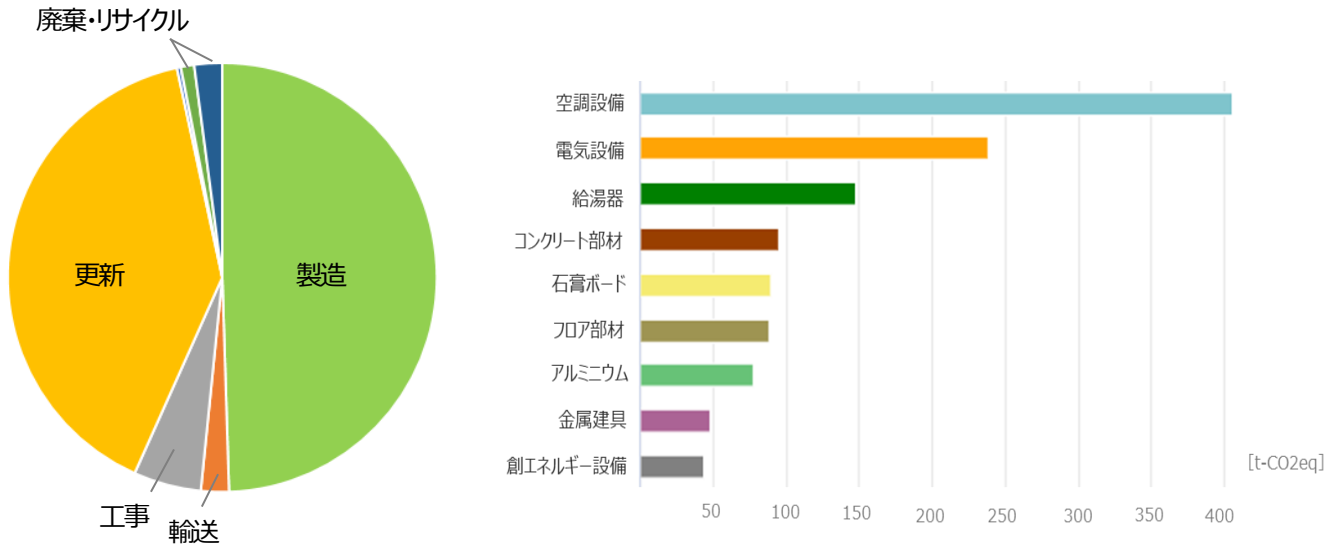
※出典 global alliance for building and construction（2021）



■「One Click LCA」の特長

- ・ 建物に使用する資材のデータをもとに、建設にかかる原材料調達から加工、輸送、建設、改修、廃棄時のCO2排出量等を効率的に算定できます。BIM・エクセルとの連携も可能です。
- ・ 建てるときのCO2排出量を精緻に算定する事が可能であり、「資材調達」「輸送」「施工」「解体」などの段階における企業のCO2排出量削減取組を算定結果に反映できます。資材の環境認証ラベルであるEPD（Environmental Product Declaration）を使用する事で、サプライチェーン全体でのCO2排出量の見える化が可能です。
- ・ 算定に利用する資材データを含むライフサイクルアセスメントはISOに準拠しており、LEED、BREEAMなど世界の50種類以上の環境認証に対応しています。

■「One Click LCA」での算定事例



建物の各ライフステージにおける CO2 排出量を算出できる

建物に使用される各資材の CO2 排出量を正確に把握することができる

※出典: 上記グラフは、平成 28 年 3 月林野庁公表の「平成 27 年度 木材利用推進・省エネ省 CO2 実証業務報告書」の公表データを元に「One Click LCA」を使って当社が独自に算定した結果です。

■今後の目指す姿

国際的な ESG 投資においては、環境認証への要請がますます強まることが予想されます。当社は「One Click LCA」の普及を通じて建設業界の脱炭素化を支援していきます。サプライチェーン全体での CO2 排出量の見える化を促進するために、資材メーカー様と、環境認証ラベル EPD の取得・普及に取り組んでいきます。

住友林業グループは国内外で森林経営から木材建材の調達・製造、木造建築、木質バイオマス発電まで「木」を軸とした事業を展開しています。木を伐採・加工、利用、再利用、植林という住友林業の「ウッドサイクル」を回すことで森林の CO2 吸収量を増やし、木材の活用で炭素を長く固定し続けます。世界の脱炭素シフトへのパートナーとして当社グループならではの「ウッドソリューション」を提供し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

以上

◀リリースに関するお問い合わせ▶

住友林業株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 鎌田

T E L : 03-3214-2270

◀「One Click LCA」に関するお問い合わせ▶

木材建材事業本部 国内営業部

T E L : 03-3214-3400